

WIN56

東京 **11R**

馬単

①→② ①→③ ①→④ ①→⑤ ①→⑥ ①→⑦ ①→⑧ ①→⑨

3連単
フォーメーション

1着 ①
2着 ②④⑦⑨
3着 ②④⑦⑨

(30点)

本紙の見解

記録優秀なスタリリング

ソウルスターリングは「5010」。一度の敗戦は桜花賞③着。決った馬場以外にも、3度目の長距離輸送がこたえた可能性もある。残る5勝はいずれも完勝。今回と同じ舞台で早馬賞②着馬を制したアイビス、前年マカヒキのダビーと内容互角のオックスは価値大。斤量、展開も有利とみて中心視。立て直したマカヒキが相手。【単有望】

枠	馬名	性齢	斤量	負担重	騎手	調教師	出走	成績	賞金	総賞金									
12	桃	牡6	58	58	川田	松岡	横山典	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717
3	ウインブライ	牡6	55	55	松岡	横山典	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717	
10	ワンアンドオン	牡6	57	57	横山典	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717		
7	ヤングマンパワ	牡6	56	56	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717			
9	リアルステイル	牡6	57	57	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717			
6	グリーンターロ	牡6	56	56	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717			
5	マツチレスヒー	牡6	56	56	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717			
4	ヒストリカル	牡6	56	56	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717			
3	ダイワキヤグニ	牡6	54	54	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717			
2	マカヒキ	牡6	57	57	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717			
1	ソウルスターリ	牡6	53	53	石橋橋	7825	6025	18105	3650	9226	11267	22186	14515	3654	40436	27717			

3連単
フォーメーション

1着 ①
2着 ②④⑦⑨
3着 ②④⑦⑨

(30点)

3連複

過去の実績 8 12 2 10 1

距離の適性 8 5 1 11 4

コース適性 7 12 1 2 8

攻め馬状態 1 11 9 8 4

馬名	性齢	斤量	負担重	騎手	調教師	出走	成績	賞金	総賞金
芝1800	新馬	52	52	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬
新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬

馬場集結

マカヒキが今年2戦が不本意な結果だが、京都記念は帰国後緒戦、大阪杯は位置取りの差もあった。立て直して、こ

展開

⑨が積極的に行きそで上がりの勝負。3歳女②⑧のお手並みは、4⑦がどこまで好はできず。

馬名	性齢	斤量	負担重	騎手	調教師	出走	成績	賞金	総賞金
新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬

馬場集結

マカヒキが今年2戦が不本意な結果だが、京都記念は帰国後緒戦、大阪杯は位置取りの差もあった。立て直して、こ

展開

⑨が積極的に行きそで上がりの勝負。3歳女②⑧のお手並みは、4⑦がどこまで好はできず。

馬名	性齢	斤量	負担重	騎手	調教師	出走	成績	賞金	総賞金
新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬

馬場集結

マカヒキが今年2戦が不本意な結果だが、京都記念は帰国後緒戦、大阪杯は位置取りの差もあった。立て直して、こ

展開

⑨が積極的に行きそで上がりの勝負。3歳女②⑧のお手並みは、4⑦がどこまで好はできず。

馬名	性齢	斤量	負担重	騎手	調教師	出走	成績	賞金	総賞金
新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬

馬場集結

マカヒキが今年2戦が不本意な結果だが、京都記念は帰国後緒戦、大阪杯は位置取りの差もあった。立て直して、こ

展開

⑨が積極的に行きそで上がりの勝負。3歳女②⑧のお手並みは、4⑦がどこまで好はできず。

馬名	性齢	斤量	負担重	騎手	調教師	出走	成績	賞金	総賞金
新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬	新馬

馬単オッズ 上位人気	東京 11R 3連複 上位人気	東京 11R 3連単 上位人気
12 9.8	128 11.2	128 34.0
13 23.0	124 12.9	1212 40.6
14 10.5	127 13.4	124 40.8
17 12.8	1212 13.8	127 40.9
18 10.1	147 15.3	182 42.8
111 33.7	148 18.1	142 50.2
112 19.7	178 18.2	147 50.4
21 14.1	1812 20.5	174 51.5
24 42.0	1412 21.5	187 56.1
27 39.4	1712 23.1	122 56.1
28 30.6	2812 35.5	218 56.2
212 30.4	123 35.8	172 57.0
41 29.8	278 38.1	184 59.2
48 67.1	248 39.1	1812 59.9
71 22.6	247 41.2	148 61.1
72 47.6	134 45.1	178 61.7
74 29.0	2712 47.3	1412 67.3
78 57.7	478 47.6	214 68.9
712 62.7	2412 49.1	128 70.6
81 25.6	4812 51.0	217 72.6
82 42.8	712 52.6	2112 73.1
812 62.2	7812 53.6	124 73.4
121 33.6	138 57.3	281 78.9
122 40.5	137 59.6	1712 79.0
124 57.7	149 70.4	127 80.3



今日は仕切り直しをテーマに、**⑧Rのヴァンペール**シチー。経験馬相手に直線一気を決めた初戦が強烈なインパクト。馬込みをさばき切れなかった前々走もキャリア2戦目の昇級戦とすれば好内容。千通過62秒2のドロローにハマってしまっただ前走はここへの叩き台。素質は互角以上、変わり身に注目します。京都**⑩R**はスズカメジャー。N.Z.Tでは2番人気に推された素質馬、レースでは勝負どころで外からかぶされ、踏み遅れの形に。直線は進路を切り替えるがゴール前猛追と、負けて強しの競馬を見せています。疲れたか？折り返いを欠き競馬にならなかつた前走は参考外。休養挟んでリフレッシュ、まさに仕切り直しの一戦です。



大川浩史

出走意図を考える

3日間開催らしく、2歳未勝利や500万は「似たような番組」が複数組まれている。土曜は「優先出走権持ちの牝馬シーエーパイロットが、なぜ牝馬限定の6Rではなく8Rなのか」を熟慮した。

今日のお題その1は「ディアサルファアはなぜ牝馬限定の東京2Rではなく3Rなのか」

距離は違うものの、ディアサルファアは千六(2R)を避けるからには、他に理由がある。おそらくそれは、アーモンドアイがいるから。新潟千四の新馬戦は超スローでレベルを読みにくい、内回り千四の超スローで追い込んできたアーモンドアイは強い。

今日のお題その2は「なぜ東京7Rには3歳未勝利馬が4頭も出走できたのか」。答えはアーリアキャロルを避けた馬が多いからだろう。相手は楽勝した4走前以来の東京でラレータ。

藤本貴久の「耳鳴き」



東京9R ロードリベラル 運転免許の書き換え講習を受けたが、昔の学校みたいな机と椅子。そして講師にランダムで当てられる問題。目を伏せ「当てな〜」と心で願うあの感じ久々に味わった。「落ち着き鍵も素質は一級品」

- ◆安田記念最先行馬の成績◆
- 19年ダイワメジャー ①②③着
 - 20年ウオッカ ①②③着
 - 21年ウオッカ ①②③着
 - 22年ショウワモダン ①②③着
 - 23年リアルインパクト ①②③着
 - 24年ストロングリターン ①②③着
 - 25年ショウナンマイティ ①②③着
 - 26年ワールドエース ①②③着
 - 27年ヴァンセンヌ ①②③着
 - 28年ロゴタイプ ①②③着
- ※着順は上が安田記念、下が毎日王冠

東京リーディングトレーナー (2017年6月25日終了現在)

順位	調教師名	馬房	所属	①特別	②重賞	③着	着外	連対率	通勝利
①	堀宣行	24	(北)	14⑤	7	5	35	.344	479
②	国枝栄	28	(北)	13②	8	4	45	.300	789
③	藤沢和雄	28	(北)	10④	11	4	39	.328	1365
④	手塚貴久	26	(北)	10④	10	8	38	.303	445
⑤	古賀慎明	20	(南)	8①	9	3	38	.293	242
⑥	戸田博文	28	(南)	8④	8	3	53	.222	404
⑦	田村康仁	26	(南)	8①	4	2	59	.164	443
⑧	宗像義忠	26	(北)	8①	1	4	49	.145	555
⑨	相沢郁	22	(南)	6①	4	8	42	.167	363
⑩	久保田貴	22	(南)	6②	4	6	37	.189	362

東京リーディングジョッキー (2017年6月25日終了現在)

順位	騎手名	年齢	所属	①特別	②重賞	③着	着外	連対率	通勝利
①	戸崎37	(田島俊)	51⑤	37	22	135	359	793	
②	ルメー38	(フリー)	24⑥	29	16	60	453	671	
③	内田博47	(フリー)	28④	28	29	185	207	1088	
④	田辺33	(フリー)	19⑤	17	14	121	211	698	
⑤	Mデム38	(フリー)	16⑩	12	10	39	364	732	
⑥	大野31	(フリー)	15③	15	12	178	136	407	
⑦	北村宏37	(フリー)	13⑤	15	8	161	142	1244	
⑧	横山典49	(フリー)	11②	9	9	80	183	2670	
⑨	柴田大40	(フリー)	10①	13	19	161	113	414	
⑩	吉田豊42	(フリー)	10②	9	13	140	110	1198	

勝負の一手 郡和之

東京11R ダイワキャグニー

豪華メンバーが集結して、時にG1以上の盛り上がりを見せる年もある毎日王冠。今年には天才少女の始動戦として注目を集めているが、目標は先があり、今回は付け入る隙がある。本馬は得意の左回りを目標に好仕上がり。プリンシパルスは出色の内容だった。

オッズは土曜日の午前10時時点の売りオッズです。